

# 話し手の性格と声の印象は一致するのか

橋本茉奈実

(広島国際大学大学院心理科学研究科)

## 目的

人は他者のわずかな刺激を手がかりとして印象評価を行っている。例えば、人の顔写真を用いた研究では、写真を一瞬見ただけで印象評価ができることが示されている(Willis, & Todorov, 2006)。また、音声を用いた印象評価では、電話口の“Hello”を聞いただけで性格印象を評価でき、評価は評価者間で高い一貫性があることが示されている(McAlear, Todorov, & Belin, 2014)。

しかし、印象と実際の行動との対応関係はあるのだろうか。Rule, Ishii, & Ambady(2011)は、会社の経営者の顔写真を用い研究を行った。彼らによると、経営者の顔写真の印象において、医原性の印象と経営する会社の収益に正の相関があることを示した。すなわち、会社経営の良好さを顔写真から判断できると考えられる。それでは、音声による性格印象と実際の性格との間に対応関係があるのだろうか。本研究では、話し手の性格検査の結果とその音声を聞いた他者による性格印象を比較した。

## 方法

実験参加者：大学生 40 名(男女各 20 名、以下評価者)

刺激：評価者とは別の大学生 10 名(男女各 5 名、以下話し手)の声を録音し、「もしもし」の部分だけを切り取り使用した。話し手には、Big Five 尺度 60 項目に回答を求めた。

手続き：10 種類の音声を 1 つずつ再生し、Big Five 短縮版 5 項目 (7 段階)に音声の印象を評価した。音声の呈示順序はランダムだった。

## 結果

話し手の音声分類するために、Big Five の各因子毎に高得点の者と低得点の者を、男女各 5 名の中からそれぞれ 2 名ずつ選び、高条件と低条件(Table1 の左側に平均値を示す)とした。次に高条件と低条件に分類された音声に対する評価者の印象得点の平均値を算出した(Table1 の右側に示す)。これらの平均値に差があるかどうか検定するため対応のある t 検定を行った。

Table1. 話し手パーソナリティの高低の平均値及び評価者の平均値(SD)

|        | 話し手  |      | 評価者(N=40)  |            |
|--------|------|------|------------|------------|
|        | 高条件  | 低条件  | 高条件        | 低条件        |
| 外向性    | 5.33 | 3.88 | 3.89(0.94) | 3.99(0.87) |
| 情緒不安定性 | 5.48 | 2.83 | 3.36(0.72) | 4.13(0.81) |
| 開放性    | 4.90 | 3.46 | 3.54(0.73) | 3.88(0.97) |
| 誠実性    | 5.00 | 2.96 | 4.13(0.69) | 3.73(0.87) |
| 調和性    | 5.69 | 4.69 | 4.33(0.92) | 3.77(0.82) |

検定の結果、誠実性( $t(39)=2.89, p<.01$ )、調和性( $t(39)=4.48, p<.01$ )、情緒不安定性( $t(39)=-5.88, p<.01$ )、開放性( $t(39)=-3.46, p<.01$ )において有意な差があった。すなわち、誠実性と調和性の高い話し手の音声は、その印象も高いことが示された。一方、情緒不安定性と開放性については、その数値の低い話し手の音声は、印象としては高く評価されていた。

## 考察

先行研究(McAlear, et al., 2014)と同じく、「もしもし」という 1 秒にも満たない話し手の音声によって、性格の印象評価ができることが明らかになった。また特に、その印象評価は話し手自身による性格検査の結果と一致する部分(誠実性と調和性)があり、印象の正確さを示していると考えられる。

一方、情緒不安定性と開放性については、話し手の性格検査の結果と評定者の印象とは逆の傾向を示していた。この点については、今後さらなる研究が必要だが、誠実性と調和性ほど二者間の社会契約的關係にとって重要な因子ではないため、それらに対する鋭敏な知覚メカニズムをヒトは進化させてこなかった可能性がある。

## 引用文献

- McAlear, P., Todorov, A., & Belin, P. (2014). How do you say 'Hello'? Personality impressions from brief novel voices. *Plos One*, 9, 90779-90787.
- Rule, N. O., Ishii, K., & Ambady, N. (2011). Cross-cultural impressions of leaders' faces: Consensus and predictive validity. *International Journal of Intercultural Relations*, 35, 833-841.